"BIG DREAMS" with "BIG SMILE"
"自己実現　自主自立　そして夢の実現"

こうのうら

佐世保市立神浦小学校
学校便り
今年度のキーワード
『つなぐ（繋ぐ）』 No.48
平成２８年２月４日（木）
文責：校長　園田俊郎

学校教育目標　：　心やさしく　進んで学び　たくましく生きる子どもの育成

～冬の寒さがあってこそきれいな花に～

昨日は節分，そして今日，２月４日は『立春』です。すっかり暖冬だと思っていた今回の冬でしたが２４・２５日は大変な寒波がやってきて大雪をもたらしました。天気予報では今週末も雪マーク。先日ほどの雪にはならないでしょうが，まだまだ寒さは続きそうです。

この時期，何気なく周囲に眼を凝らすと「春」がすぐそこまで近づいていることが分かります。右の写真は本校の桜の枝についた小さなつぼみです。すでにたくさんのつぼみが春を待っているようです。例年は，「早く暖かい春が来ないかな。早く桜の花を見たいな」と思っていましたが，今年は複雑な心境です。

桜の花の色は寒さと関係があり，冷え込みが厳しいほど見事な桜色になるそうです。今回の大雪と寒さに耐えた桜は，春を迎える頃，例年以上に色鮮やかに，元気に，力強く咲き誇ることでしょう。神浦小で過ごした子ども達との思い出を懐かしむように・・。そして神浦小学校を忘れないでとでも言いたげに・・・。

～節分とは～

節分とは本来，「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し，立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に，１年に４回あったものでした。ところが，日本では立春は１年のはじまりとして，とくに尊ばれたため，次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。

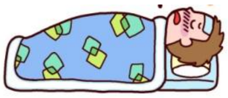
～立春とは～

立春とは１年間を２４に分けたときの二十四節気の第１に当たります。

この二十四節気は太陽の角度（太陽黄経）によって決められています。

太陽黄経が３１５度のときが立春とされています。この立春から立夏までのことを『春』と呼びます。
つまり言葉通り，『春が始まった第１日目』を意味しています。

今年度も残すところ2ヶ月。閉校式は3月6日（日）。卒業式は3月１７日。修了式は3月２４日です。実質３３日。（６年生は２９日です。）各学年での一年間のまとめ，そして神浦小学校での総まとめの時期，そして次のステージへの準備段階として，最後まで笑顔で充実した日々を送らせていきたいと思います。



インフルエンザの流行に備えましょう!

市内の小中学校でもインフルエンザが流行の兆しを見せ，学級閉鎖を行なっている学校もあります。インフルエンザの全国的な流行は，例年 11 月下旬から 12 月上旬頃に始まり，年が明けて１月から３月頃にピークを迎えます。本県では１月から本格的な流行が始まり，以後患者数が急増して２月初旬から中旬にかけてピークに達する傾向にあります。今年も先日，インフルエンザの流行入りが発表され，注意報まであとわずかという数値レベルに接近しています。

予防にはワクチン接種をはじめ，日頃からしっかりと休息やバランスのよい食事をとり，免疫力を維持することが重要です。また，飛沫や接触により感染が成立するため，外出先から帰宅した際の手洗いの励行やマスクなどによる｢咳エチケット｣の徹底なども有効です。　残り少ない本校での学校生活を充実させるためにも，ご家族ともども，充分にご留意ください。　　　　　　　　（長崎県ＨＰより参照・抜粋）